

### 「過労死」から「はたらく」を考える

実施日：2017年9月27日

実施校：北海道安平町立早来中学校

科目：道徳

平成29年9月、北海道安平町立早来中学校で全校生徒を対象に労働問題・労働条件に関する啓発授業が開かれました。講師は皆川洋美弁護士にご担当いただきました。

とても有意義な授業だと他校の先生から推薦されたということでお申込をいただきました。

当日は過労死遺族からのメッセージ動画の視聴と、皆川弁護士による講義「「過労死」から「はたらく」を考える」を実施しました。メッセージ動画については、生徒たちが食い入るように見ていたため、直接生の声で聞かせてあげたいという要望が教職員からあがりました。皆川弁護士のお話については、「生きることが最大の仕事」、「自分の体と心は自分のもの」、「おかしいと思ったらおかしいと声をあげること」といった正直で素直な言葉が強く印象に残った、と生徒から感想がありました。



生徒からの質問の様子

#### 生徒からの声

- ・働く前に、「命より大切な仕事はない」と知ることができてよかった。
- ・「自分が自分らしくいられる事が大事」という言葉がすごく心に響いた。
- ・まっすぐに現状を教えてもらったこと、身の回りにありそうなことに見立ててわかりやすく説明してもらったことがよかった。
- ・過労死のことだけでなく、弁護士をされていて思ったことや感じたことや私たちに大切にしてほしいことについて教えていただいた。
- ・おかしいと思ったことを伝えることの大切さを学んだ。

### 労働ルールを知って、働き過ぎ社会から命と健康を守る

実施日：2018年1月12日・19日

実施校：正則高等学校

科目：家庭科

平成30年1月、東京都港区にある正則高等学校で2年生の生徒を対象に労働問題・労働条件に関する啓発授業が開かれました。

講師は玉木一成弁護士にご担当いただきました。

本授業の前に学校の鈴木先生により事前学習が行なわれていたため、生徒の中にある程度の前提知識がありました。さらに、講師の玉木先生は鈴木先生と事前の打ち合わせを行い、授業に臨んでいただきました。



当日は玉木先生からは、生徒の目線に合わせて、過去の事例を織り交ぜながら大変わかりやすくお話をしていただき、先生ご自身のお話など、先生の人間性に触れられたことも、生徒の理解につながっていききました。また、一人ひとりの生徒の質問にも丁寧にお答えいただき、生徒にとってはとても充実した時間となりました。玉木先生ご自身が知識が豊富なため、生徒の感想からは「もっと時間が欲しかった」、「もっとお話を聞きたかった」という声が多数上がりました。

#### 生徒からの声

- ・今後の自分たちにとって、仕事は必ず関わってくることなので、ちゃんと考えていかないといけないと思いました。
- ・大手企業の事件のことは知っていましたが、その内容についてはよく知らなかったので、残業時間の多さ等の事実を知ることができて驚いた。
- ・ブラック企業のお話や過労死の被害者の労働状況を聞くことができ勉強になりました。もし自分が同じ立場になった時にどうすべきなのか、具体的に聞いたのはとてもありがたかったです。
- ・今回の講演で聞いたお話は、これから社会に出ていく私たちにとってすごく大切になってくることだと思う。

## 過労死を生む社会構造への理解を深めることが、過労死防止の第一歩に

実施日：2017年7月13日

実施校：東海大学湘南キャンパス

科目：実践型教養科目（全学部・全学年対象に開講）

平成29年7月、東海大学(湘南キャンパス)で労働問題・労働条件に関する啓発授業が開かれました。講師は川岸卓哉弁護士と神奈川過労死等を考える家族の会代表の工藤祥子さんにご担当いただきました。

川岸弁護士からは日本の長時間労働者の割合が国際的に見て高いこと、正社員採用を目指して努力する青年労働者に劣悪な労働環境を押し付ける企業が増加しているといった事例をグラフや過去の判例を使って説明がありました。

工藤さんからは「命より大切な仕事はない。ある日突然大切な人を失うような悲しみを味わってほしくない。皆さんもおかしいと思ったら声を上げて下さい。」とお話いただきました。



### 学生からの声

- ・好きな仕事で命を落としたこと、どれだけ悔しくて辛かったかと思うし、遺された家族にとっても大変な道のりだったろう。
- ・アルバイトを始めるにあたって、労働環境を他人と共有し、自分の意見を持って取り組んでいきたい。
- ・これから就職する私たちが、他人事ではなくて、今後自分や周りの人にこのようなことが起きないためにできることを考え、早めに声に出したり、異議を唱えたりすることが大事だと思った。
- ・学校教育では、働くことや将来についてたくさん情報を与え、就職への焦りを煽るけれど、こうした就職後に起こりうる危険性はなかなか教えない。昨今の日本でブラック企業や過労死が問題視されているなか、それではあまりに無責任ではないか。
- ・アルバイトでも「休みづらさ」があるので、社会人にはさらに「休みづらさ」があるのだと思う。このような社会に根付いた文化から、変えるべきところがある。